

2016年4月10日(日)

湖北 東山

単独行(18キップ山行)

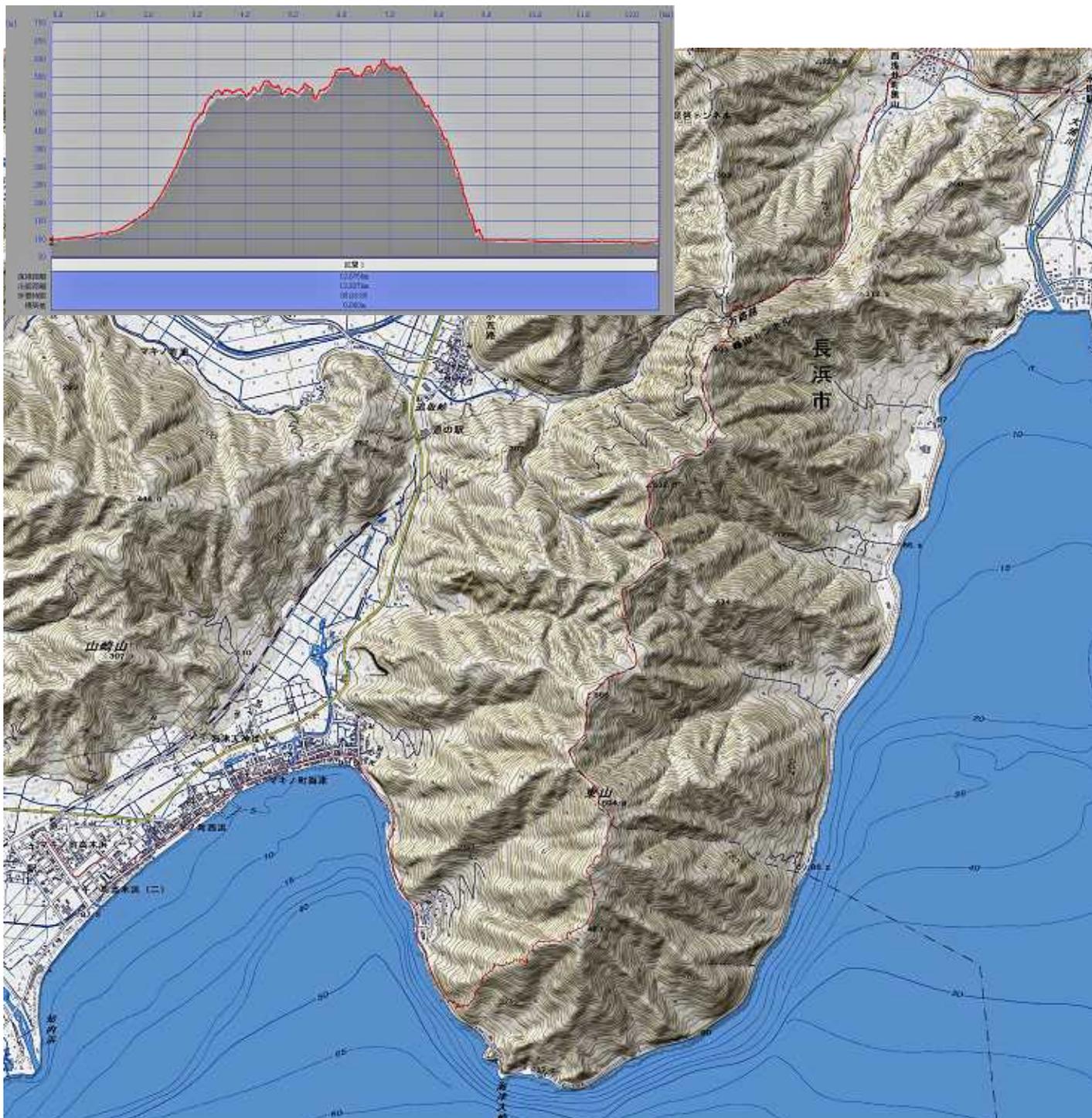
標高: 東山 594.8m

コース距離: 12.8km

所要時間: 5時間26分(休憩含む)

コースタイム: 永原駅(10:43) (10:52)万治峠(10:59) (11:31)三角点532m
(12:10)P556反射板【食事休憩】(13:00) (13:14)P595東山 (13:32)P483
(14:21)海津大崎 (15:08)マキノ駅

山行軌跡 と 行程グラフ



アプローチ: 18キップを利用

往路: JR島本駅(7:49発) 高槻駅(敦賀行新快速に乗換) 永原駅(9:31着)

復路: JRマキノ駅を13:28発臨時新快速京都駅行 普通電車に乗り換え島本駅で帰途に着く。

山行記:

青春18キップ春季の使用期限が今日10日までと有って行きの車内は兆満員でごったがえっていた、いったん隙かけた乗客も近江今津で連結が切り離され4両編成で後ろから移ってくる人でまたごったがえす。

永原駅で下車したが大勢の人たちが同じく下車してきて駅の出口がごったがえっている何やら滋賀県のウォーキング大会で海津大崎の桜を観て回る模様のようなのだ。

駅前で登山準備して出かけたが登山者は前に二人が歩いて後ろに一人が来られている人数だ。

猪除け策の扉のところで前に居た二人が戸惑っている扉に架かっている鎖がうまく外せないのだ、見てみるとストッパーが付けられているので私が外して入る。

二人の女性も18キップを使ってきたとの事だが岡山から来ている何処かで泊まって来たのですかと尋ねると姫路までは新幹線を使って姫路から新快速に乗って来た、それにしてもこの山をどうして知ったか聞いてみると以前に山溪の雑誌に載っていて興味を持ったと二人の歩調は速い山慣れしている。

林道が途切れて道なき道を進んでいく駅から1時間9分で万路越の万治峠に到着し一休み、ここから左の尾根に取り付く最初は明瞭な道が有ったが不明瞭な道に変わってくる地図とコンパスとGPSで方向を確かめながら歩いて行く。

P532に来て通り過ぎようとした時二人の女性が三角点を発見する、何度か迷いながらウロウロしながら歩いて行く遠くに反射板が有るのを二人が見付け目指して行き12時10分P556の反射板が有る所に出た、4人のグループが休んでおられていた反射板の前側が刈り込まれて広場になっているが反射板は錆色で機能するのか疑わしい。

正面に竹生島が見えるここで食事休憩することにした、食事中に駅を出た時に後ろを歩いていた登山者が到着した。

4人のグループと一緒に来た女性二人が先に出立していった、10分程後13時に後から来た登山者を残し一人で出立する。

次は東山を目指す14分程で東山に到着する大人数のグループが居られたが先行者の姿はなかった、永原から万治峠を経て来たと言うと感心されていたグループは楽なコースから来れた様だが何処からとは聞かなかった。

東山からは下りのルートになる、P483に来ると踏み跡は見つからない下り易い場所を探しながら下って行く後から判ったが降りる予定のコースから外れていた、360m付近に小屋が有って鳥居が有る所に出たが踏み跡は見つけれない滑りながら灌木を頼りに下って行く。

観光船の案内放送が常時聞かれるが道路が見えない、コンクリートの壁が下にあるが段差が高そうで右にトラバースして下って行き道路に出られた海津大崎の先端から大分離れた場所に出たようだ。

半島の道路をマキノ駅を目指して進む沿道の桜は散り掛けている時々桜吹雪が見られる、15時8分にマキノ駅に到着しホームに上がると先行していった二人の女性に出会った、二人はシャトルバスに乗って駅まで来たそうである臨時の新快速で京都に、乗り換えて自宅に戻った。



黒山の里



万路越の万治峠



タムシバ



P532の三角点



踏み跡を探しながら



P556広場 奥が竹生島



タムシバ



竹生島



錆びた反射板



東山山頂



東山山頂



こんなところに鳥居が



海津大崎の海岸



桜

並



木